

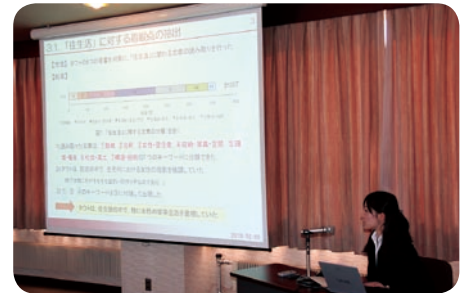
お茶の水女子大学桜蔭会研究奨励賞 受賞者による研究発表会を開催



平成20年度お茶の水女子大学桜蔭会研究奨励賞受賞者による研究発表会が、2月5日、本学にて開催されました。

この発表会は、お茶の水女子大学桜蔭会研究奨励賞によって支援を受けた大学院生が、2年間に渡る研究の成果を発表するというものです。今回は、大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程の東島未知さん、内海しよかさん、小寺貴子さん、安達香里さん、堀辺宏美さんによる研究発表がおこなわれました。

当日は、桜蔭会のみなさまにもご来席いただき、遠藤由美子副会長によるご講評では、学生たちの今後の研究の励みとなるお言葉をいただくことができました。



国際シンポジウム「学生目から見た教育 ～大学が育てる新しいリーダーシップ～」を開催

2009年10月31日、お茶の水女子大学女性リーダー育成プログラムによる国際シンポジウム「学生目から見た教育～大学が育てる新しいリーダーシップ～」が開催されました。

本学学生の司会進行で国際シンポジウムは始まり、近藤譲副学長の開会挨拶の後、女性リーダーを数多く世の中に輩出してきた実績を持つ2つの大学のLorna Duphiney Edmundson 米国ウィルソンカレッジ学長並びに羽入佐和子学長から、長年の教育の実践を振り返り今後の教育のあるべき姿、女子大としての使命についての基調講演が行われました。

さらには、石井クンツ昌子教授（大学院人間文化創成科学研究科）をモデレーターとして、米国ウィルソンカレッジの学生2名及び本学の学生2名から経験に基づいたリーダー教育および教育全般を通して、今後のあるべきリーダー育成教育の方向性についての学生

セッションとパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換があり盛会のうちに終了しました。



徽音祭

「JOIN ∞ ACTION ～ Girls be ambitious! ～」

2009年11月7日、8日の2日間にわたって徽音祭が開催されました。

60回目を迎える今年の徽音祭のテーマは「JOIN ∞ ACTION ～ Girls be ambitious! ～」。

お茶大生が憧れるお茶大生No.1を決める「水コン」をはじめ、学生と教員による共同企画「High Quality クイズバトル」、縁日やおもしろ実験のコーナー、模擬講義や受験生相談室など、誰もが楽しめるさまざまな企画が実施され、2日間で1万5千人以上の方々におこしいただきました。



学内でハイチ大地震支援プロジェクトを実施

1月13日にハイチ ボルトープランスで発生した大地震では、死者行方不明者は20万人を上り、被災者は100万人を超えたといわれています。

そのような甚大な自然災害に対して、自分たちに何ができるかを考えた学生数名と教員の有志がハイチ支援プロジェクトを1月に立ち上げました。

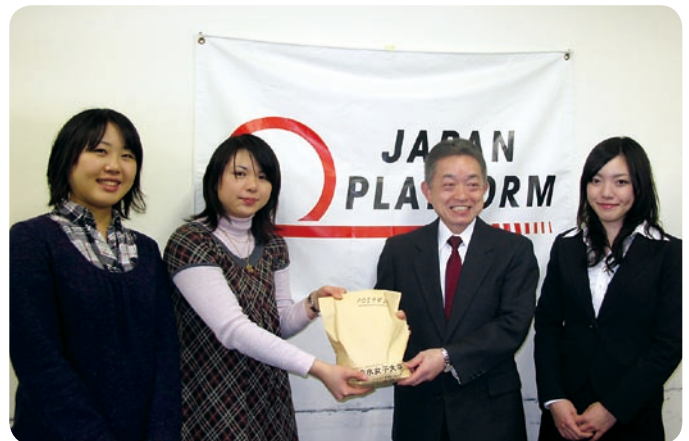
本プロジェクトでは、附属図書館のスタッフにも協力をいただき、図書館ラウンジでコーヒーと紅茶のサービスを始めました。一口100円の募金でコーヒーまたは紅茶一杯を提供するという試みです。その売り上げの全額をハイチに寄付することとしました。

1月最終週からの2週間、有志が交代でお昼休みから15時頃までラウンジに立ち、お茶を提供しました。コーヒーの美味しい匂いに誘われて、学生をはじめ、教職員が募金に賛同しました。

募金の総額は、105,942円となり、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームに全額寄付されました。

また、募金の一部は、図書館内の自販機のアシード(株)にご協賛いただき、売り上げの1割を寄付していただきました。

(記 グローバル協力センター 高橋)



学生のアクティビティ

学生のアクティビティ

伊東あゆみさん、岡村佳代さんが 第3回「未来を築く子育てプロジェクト」を受賞



大学院人間文化研究科国際日本学専攻の伊東あゆみさん、大学院人間文化創成科学研究科比較社会文化学専攻の岡村佳代さんが第3回「未来を築く子育てプロジェクト」における「女性研究者への支援」事業を受賞しました。

この事業は住友生命保険相互会社が実施する「未来を築く子育てプロジェクト」のひとつで、育児のため研究の継続が困難な女性研究者や子育てをしながら研究を続けている女性研究者などが、研究環境や生活環境を維持・継続するための支援をおこなうというものです。

2月22日に開催された表彰式では、内閣府大臣官房審議官 共生社会政策担当 岡田太造氏、厚生労働省大臣官房審議官 雇用均等雇用・児童家庭、少子化対

策担当 香取照幸氏からも挨拶があり、受賞者の今後の活躍への期待が寄せられました。また、会場には受賞者の子ども達も多く参加し、とても和やかな雰囲気の中での表彰式となりました。



岡田太造氏



香取照幸氏

西垣結佳子さん、阿隅美保子さんが 日本生活習慣病学会優秀演題賞を受賞

大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻の西垣結佳子さん、阿隅美保子さん（鈴木恵美子教授、曾根博仁筑波大教授共同指導）が、第44回日本生活習慣病学会学術集会において優秀演題賞を受賞しました。

演題名はそれぞれ、「2型糖尿病患者における診療の説明理解度と心理的ストレスの関連」、「無症候性脳梗

塞と血清コレステロール値に関する横断的検討」でした。

日本生活習慣病学会は、昭和45年に日本成人病学会として発足し40年近い歴史を有する学会で、本年度は1月10～11日に東京で開催されました。

半田智子さんがソフトウェア科学会のワークショップで受賞

大学院人間文化創成科学研究科理学専攻情報科学コース博士前期課程の半田智子さんが、2009年12月2日から4日に熱海市で開催された日本ソフトウェア科学会主催の第17回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS2009) において、ソネット賞銅賞を受賞しました。

ソネット賞は WISS2009 における登壇発表・デモ発表中の学生による発表の中から、ソネットエンタテインメント(株)により選出、決定される賞で、79件の発表の中から、金賞、銀賞、銅賞それぞれ1件が選定されました。

受賞論文

半田 智子、神原 啓介、塚田 浩二、椎尾 一郎、なめらカーテン、
第17回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS2009),
日本ソフトウェア科学会研究会資料シリーズ, ISSN
1341-870X, No. 63, pp.179-180, 2009.12.2-4.

第17回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS2009)

<http://www.wiss.org/WISS2009/Awards.html>

藤田彩さん、芦川博美さんが「第7回 航空機による学生無重力実験コンテスト」に採択

宇宙航空開発機構 (JAXA) ((財) 日本宇宙フォーラム宇宙利用事業部) が募集した「第7回航空機による学生無重力実験コンテスト」に本学理学部化学科(森義仁研究室) 藤田彩さん、芦川博美さんが応募した、「結露の表面伝播」のテーマが採択されました。

藤田彩さん、芦川博美さんが提案した実験概要は、微小重力下での結露の表面伝播挙動を観察し、地上との違いを明らかにするというものです。素晴らしい実験成果が得られることを期待しています。

この学生無重力実験コンテストは、日本が参加する国際宇宙ステーション (ISS) 計画に関連して、理工系にとどまらず幅広い分野の学生 (高専生・大学生・大学院生) に無重力実験機会を提供し、宇宙環境利用への理解・関心を深めるとともに、将来の宇宙開発を担うべき人材の育成に寄与することを目的としているものです。

航空機による学生無重力実験コンテスト (JAXA)
<http://iss.jaxa.jp/education/parabolic/index.html>

能見祐理さんが、第19回日本メイラード学会にて若手研究者奨励賞を受賞

大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程ライフサイエンス専攻食品栄養科学領域の能見祐理さんが、11月20日～21日に金沢市で開催された第19回日本メイラード学会にて若手研究者奨励賞を受賞しました。

発表タイトルは、「Xylose-lysine 系のメイラード反応から生成する新規低分子化合物とその類縁体」です。

日本メイラード学会 (JMARS) は、国際的にメイラー

ド反応に関する研究領域で最も古い学会であり、医学・薬学・食品・農学等のメイラード反応の研究者が一堂に会し、多面性を示すメイラード反応に関して多方面から討論して情報交換し、日本のメイラード反応研究の中心的な役割を担う学会として位置付けられています。

日本メイラード学会 (JMARS)
<http://www.maillard.umin.jp/>

学生のアクティビティ